

2023年10月18日(水)第三水曜祈祷会

アモス書7章1～17節

『三つの幻』

序論：アモス書の3つの区分について * 神のさばきが宣告されるのは民が神に立ち返るため。

- ①1～2章…罪に罪を重ねている諸国民およびユダ・イスラエルに対する神の審判が告げられる。
- ②3～6章…イスラエルに向かって神のさばきが宣告される。「あなたの神に会う備えをせよ。」
- ③7～9章…アモス書の中心部。神は幻をもってイスラエルへのご自身の計画を告げられる。

本論：『三つの幻』

1. 「第一の幻」(7章1～3節) * 一番草は王と王家に納め、二番草は一般の人が食糧とするもの。

①「主はいなごを備えられた」とは、どういうことを表していますか。

→

②「神、主よ。お赦してください。」とは、アモスのどんな気持ちを表していますか。

→

③「主はこれを思い直された」とはどういうことだと思いますか。

→

2. 「第二、第三の幻」(4～9節) * 「責める火」は激しい戦火。「割り当て地」は北王国の領土。

①「大いなる淵を呑み込み」「割り当て地を焼き尽くす」とはどういう状況ですか。

→

②「下げ振り」(重いなわ)とはどういうものですか。

→

③「もう二度と彼らを見過ごさない」とはどういうことですか。「イサク」は北王国を指している。

→

3. 「アマツヤとアモス」(10～17節) * アマツヤはベテルの祭司。王国の聖所の重要人物。

①アマツヤはどうしてヤロブアム王のもとに人を遣わしたのですか。

→

②アマツヤはどうしてアモスに「先見者よ。さあ、逃げるがよい」と言ったのですか。

→

③アモスはアマツヤの勧告に対してどのように答えましたか。

→

【適用と分かち合い】

①イスラエルへの神のさばきを示されたアモスはどのように思いましたか。

②アモスはどのようにアマツヤの進言に対して、毅然とした態度をとれたのですか。

③この時代の私たちにはどのような使命が与えられていますか。